

2024 年度全国通訳案内士試験  
第2次口述試験対策＜2次セミナー＞（第1講）

【1】合格必勝の心構え

- (1)これから、試験までは、**全てに優先して受験準備に努めること。**
- (2)受験のことは一切他人には言わないこと。**秘めた闘志**で臨むこと。
- (3)試験には時の運もあり、相手方（観光庁）の都合もあるので、最悪の可能性（不合格）を事前に受け入れておくこと。「不合格になったらどうしよう」などと思うことが一番よくない。
- (4)これからは、「**通訳ガイドの立場**」になりきって、準備をして、試験に臨むこと。
- (5)今後、寝床についたら次のようなことを繰り返しイメージしてください。
  - ①試験当日の朝は、すっきり気持ちよく起きる様子を思い浮かべる。
  - ②朝食を美味しく食べて、試験会場まで足取りも軽く行く様子を思い浮かべる。
  - ③試験官がニコニコして面接してくれている様子を思い浮かべる。
  - ④＜プレゼン＞も自分が用意していたものが出題されて、思わず微笑んでしまう自分を思い浮かべる。
  - ⑤＜外国語訳＞が、意外と簡単で、思わず嬉しくなってしまう様子を思い浮かべる。
  - ⑥試験終了直後、＜2次受験速報＞ハローに送る様子を思い浮かべる。→info@hello.ac
  - ⑦試験後、足取りも軽く帰路につく様子を思い浮かべる。
  - ⑧楽しい気持ちで＜2次レポート＞を書いて、ハローに送る様子を思い浮かべる。
  - ⑨繰り返しイメージすることは、潜在意識に刷り込まれ、実現されるようになります！  
ポジティブなイメージはポジティブな結果を、ネガティブなイメージはネガティブな結果をもたらすものです。
- (6)**「敵を知り己を知れば、百戦危うからず」**が勝利の鉄則。
- (7)宮本武蔵の「**五輪の書**」に学ぶ勝利の鉄則
  - ・我、事において後悔せず。**（正しい選択）**
  - ・何ごとも、道理がなくて勝つことはできない。**（道理の重要性）**
  - ・心、常に、道を離れず。**（二兎を追うものは一兎も得ず）**
  - ・役に立たぬ事を、せざる事。**（究極の合理主義）**
  - ・構えあって構えなし。**（臨機応変、変幻自在）**
  - ・宮本武蔵から受験者へのメッセージ
    - ①試験に合格することを固く**決心**（時々、動画を見る）し、＜2次セミナー＞の教えに従い、
    - ②会社の仕事、家事は大いに手を抜き、有給休暇はすべて使い切り、
    - ③受験にムダなことは一切せず、＜2次セミナー＞資料を片時も肌身離さず、
    - ④朝な夕なに勉学に努め、臨機応変、変幻自在の受験の極意を極め、**“受剣聖”**たるべし。

以上